

食道腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の治療後経過に関する 多施設共同後ろ向き研究について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

内視鏡技術の進歩により、食道癌の早期発見例と内視鏡治療症例は増加し、食道癌に対する内視鏡切除後には良好な予後が期待できるようになりました。切除後のフォローが重要となる一方で、適切な追加治療の詳細や経過観察における最適な検査方法と間隔に関する明確な指針はいまだ存在しておりません。そこで、食道 ESD 後のフォローアップにおける問題点を明らかにし、追加治療の妥当性や適切なサーベイランスの方法について検討することを目的として研究を立案しました。

【対象】

大阪大学医学部附属病院およびその関連施設 11 施設において 2005 年 5 月から 2012 年 12 月の期間に食道腫瘍に対して ESD を施行した症例のうち、上皮性腫瘍の診断であった症例。

【調査項目】

- 1) ESD 後追加治療の有無（有ればその内容）
- 2) フォローアップの方法（検査方法とその間隔）
- 3) 局所再発や転移の有無（有ればその判明日と詳細、治療経過）
- 4) 異時性多発癌の有無（有ればその判明日と詳細、治療経過）
- 5) 追加治療詳細（施行割合、治療手段とその成績）
- 6) 最終転帰（生存あるいは死亡）とその確認日（死亡の場合は死因）
- 7) 全生存率、無再発生存率

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

承認日から 2024 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】

大阪大学消化器内科学およびその関連施設 11 施設（大阪府立急性期・総合医療センタ

一、市立豊中病院、大阪警察病院、国立病院機構大阪医療センター、堺市立総合医療センター、関西労災病院、市立伊丹病院、箕面市立病院、市立池田病院、大阪労災病院)

【研究代表者】

竹原徹郎

大阪大学消化器内科学・教授

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

TEL : 06-6879-3621

FAX : 06-6879-3629

E-mail : takehara@gh.med.osaka-u.ac.jp

【研究事務局】

林義人

大阪大学消化器内科学・助教

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

TEL : 06-6879-3621

FAX : 06-6879-3629

E-mail : y.hayashi@gh.med.osaka-u.ac.jp

【当院の研究責任者】

萩原秀紀

関西労災病院 消化器内科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail : hagiwara@kansaih.johas.go.jp